

## 1999年度 経済学会会員業績一覧

昨年度経済学会会員が本誌以外に発表した業績は次のごとくである。

浅井 学

“A Method to Estimate Random Walk Stochastic Volatility Models”

*Far East Journal of Theoretical Statistics* Vol. 3, No. 1 (pp. 187-212) 1999年 7月

“Time Series Evidence on a New Keynesian Theory of Output-Inflation Trade-off”

*Applied Economics Letters* Vol. 6, No. 9 (pp. 539-541) 1999年 9月

“Bayesian Analysis of Stochastic Volatility Models with Heavy-Tailed Distributions”

*METC Journal* Vol. 12 (pp. 19-40) 1999年12月

石黒 真吾

“Incomplete Contracts and Breach Remedies”

*Journal of Institutional and Theoretical Economics* 1999年 6月

“Moral Hazard and Renegotiation with Multiple Agents” (joint with Hideshi Itoh)

*Review of Economic Studies* (forthcoming)

Endogenous Verifiability and Optimality in Agency

The Far Eastern Meeting of the Econometric Society (Singapore) 学会発表 1999年 7月

稲葉 和夫

『海外直接投資の経済学』

創文社 1999年 4月

*Japanese Foreign Investment: An Empirical Study Using a Multi-Sectoral Econometric Model,*

Interim Report, International Institute for Applied Systems Analysis, 1999年 8月

実験計画法, 統計理論, 分散分析 (『経営学大辞典第2版』所収)

中央経済社 1999年 9月

『経済・経営統計入門』(共著)

共立出版社 1999年12月

「関西系企業の海外進出」(『関西経済の活性化と国際化に関する研究』第1章所収)

『立命館地域研究8』古今書院 2000年 3月

大川 隆夫

“On the Existence and Uniqueness of Two-stage Stackelberg Equilibrium with Multiple Leaders and Followers” (joint with Makoto Okamura)

*Journal of Economic Research* Vol. 4, No. 2 (pp. 211-222) Asia Pacific Economic Association

1999年11月

“On the Uniqueness of the Stackelberg Oligopoly Equilibrium” (joint with Makoto Okamura)

『政策科学』第7巻第3号 (pp. 63-69) 立命館大学政策科学会 2000年 3月

大川 昌幸

翻訳「『現代国際貿易理論Ⅰ』カーユン・ウォン著」(共訳)

多賀出版 1999年 5月

- 翻訳「『現代国際貿易理論Ⅱ』カーユール・ウォン著」（共訳） 多賀出版 1999年9月
- 奥地 正  
地球環境問題と日本の林業・農山村 『林業経済』（財）林業経済研究所 1999年5月
- 金丸 裕一  
従破壊到復興？——従経済史来看『通往南京之路』  
『中国現代史專題研究報告』第20輯（再録）中華民國史料研究中心（台北） 1999年9月  
以史為『劍』——一九八五年的日中關係初探  
『《五十年來的香港・中國與亞洲》國際學術研討會論文』香港珠海書院亞洲研究中心 2000年1月  
久保・関・牧野論文に対するコメント  
『中華民國期の經濟統計：評価と推計』一橋大学経済研究所 2000年2月
- 川瀬 光義  
基地をめぐる政府間財政関係 『都市問題』東京市政調査会 1999年10月  
地方交付税の変質と改革の方向 『地方税制の諸問題』谷沢書房 1999年12月
- 紀國 洋  
“Repair Market Structure, Product Durability and Monopoly”  
*Australian Economic Papers* Vol. 38, No. 4 1999年12月  
*Essays on Durable Goods Monopoly and Planned Obsolescence*  
北海道大学博士号（経済学）取得論文 2000年3月
- 言美伊知朗  
“Habits, Costly Investment, and Current Account Dynamics”  
*Journal of International Economics* 1999年12月
- 鈴木 登  
5章 問題提起（5-3）、9章 経済理論の有効性—その体系性・理念性・高度専門性をめぐって（『進化・複雑・制度の経済学——立命館大学経済学部創立50周年記念出版』芦田文夫，高木彰，岩田勝雄編所収） 新評論 2000年2月  
1章 歴史的形成過程からみた市場制度としての精神文化と制度文化——そのシステム・運営ルール・慣行における西洋および東洋の諸特徴（『市場システムと現代の経済』所収）  
立命館大学人文科学研究所紀要 No. 74 2000年3月  
2章 21世紀社会科学のパラダイム——「総合社会科学」の措定（『北東アジア地域研究序説』宇野重昭，増田祐司編） 国際書院 2000年3月
- 清水 裕子  
“Analysis of Objective Test Item: Towards a Revision of the Placement Test”  
『立命館言語文化研究』第11巻第2号 1999年9月  
『TOEICR テスト速解ナビゲーター入門編』 三修社 1999年12月

- “Effect of Key Word Identification Tasks on Reading Comprehension”  
 『言語・人文科学論集』第13号 長岡技術科学大学 2000年3月
- 田中 宏  
 東欧における地域協力と国際関係（共著）（『東欧経済』第2章所収） 世界思想社 1999年9月
- 谷垣 和則  
 国際間資本移動と貿易政策論 神戸商科大学（博士論文） 1999年4月  
 『国際間資本移動と貿易政策論』 文真堂 1999年12月
- 寺脇 拓  
 農業の外部経済効果の内部化に向けて 『農林統計調査』第579号 農林統計協会 1999年6月  
 書評 「『農村アメニティの創造に向けて』出村克彦・吉田謙太郎編 大明堂」  
 『農林統計調査』第584号 農林統計協会 1999年11月  
 農業関連公共事業の便益関数移転 『農業林経済研究』第71巻第4号 岩波書店 2000年3月  
 Limdepによる二段階二肢選択 CVM の計測 『神戸大学農業経済』第33号 神戸大学農学部 2000年3月
- 野澤 和典  
 学習者コーパスによる事例研究：英語教育への応用  
 『立命館言語文化研究』立命館大学言語文化研究所 1999年12月  
 情報メディア・コミュニケーションとしてのインターネットの特性  
 『1999年日本コミュニケーション研究者会議 Proceedings 10』  
 日本コミュニケーション研究者会議 2000年2月
- 藤岡 惇  
 学生互助組織による参画型講座の展開 『経済学教育』18号 1999年4月  
 ハーグ世界市民平和会議にみる新世紀への胎動 『協同の発見』86号 1999年6月  
 アメリカの経済覇権の回復を支えているもの 『土地制度史学会1999年度学術大会報告要旨』 1999年9月  
 国家に依存した日本型企業社会を解体する二つの道 『経済科学通信』91号 1999年12月  
 中村尚司報告へのコメント（『進化・複雑・制度の経済学』芦田文夫他編所収） 新評論 2000年3月
- 藤倉 良  
 “Public Participation in Urban Environmental Management in Japan”  
 World Development Report 1999/2000 Tokyo Workshop 1999年5月  
 日本企業が開発途上国で行う環境保全活動・環境ビジネスに関する研究（中本成美との共著）  
 『土木学会第7回地球環境シンポジウム講演集』（303-308頁） 1999年7月  
 企業の公害防止費用に関する試算 『資源環境対策』11月号（53-60頁） 1999年11月  
 公害対策経験の知識共有化と途上国支援 『国際開発研究』第8巻第2号（59-70頁） 1999年11月  
 国際協力実施に向けた公害経験情報の役割 『アジア経済研究合同学会報告書（197頁） 2000年2月  
 “Development of Environmental Policy in Kitakyushu City”（joint with T. Katsuhara, H. Nakayama）  
 『アジア経済研究合同学会報告書』（198頁） 2000年2月

「エラい」研究所

国立環境研究所ニュース Vol. 18, No. 6, (2頁) 2000年2月

古瀬 政敏

生命保険会社と時価会計——生保財務会計研究会報告——（共著）

生命保険文化研究所 1999年

相互会社における社員の持分と株式会社化時の取扱い

『ビジネス・インサイト』第26号（8-17頁） 1999年6月

堀 敬一

資産価格モデルの実証研究：展望

『現代ファイナンス』東洋経済新報社 1999年10月

金融政策の波及経路と銀行行動

『現代の金融と政策』（小佐野・本多編）日本評論社 2000年1月

松井 暁

市民が創造する総合科目——開かれた大学に向かって——

『経済学教育』第18号 経済学教育学会 1999年4月

『アナリティカル・マルキシズム』（高増明との共編）

ナカニシヤ出版 1999年6月

今日の市民社会論と管理社会論

『情況』2000年1, 2月合併号

『ポスト・リベラリズム』（有賀誠, 伊藤恭彦との共編）

ナカニシヤ出版 2000年3月

松原 豊彦

遺伝子組み替え作物——安全確保と情報開示を——

京都新聞 1999年11月7日

日本の農業, 「食業」とアグリビジネス

『グローバル段階の日本の食料・農業・農村 立命館土曜講座シリーズ7』立命館大学人文科学研究所  
2000年3月

農業をめぐるゼロエミッションの方向と課題

『草津市域における「環境問題」と「地域産業構造」の研究』草津市

社会システム研究所 2000年3月

一宮町の農業振興基本計画の策定についての調査研究報告書

BKC 社系研究機構 2000年3月

松本 睦

“Productivity-enhancing public investment and benefit taxation: the case of factor-augmenting public inputs” (joint with James Feehan)

*Canadian Journal of Economics* Vol. 33, No. 1 (pp. 114-121) 2000年2月